

認知症ケア論	4年・後期	1単位	准教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121004

1. 授業のねらい・概要

超高齢化社会を迎え、認知症高齢者が益々多くなっている。認知症のある人の言動には、健常者が推察できにくい状況や思いがある。認知症と認知症のある人の理解を深め、認知症のある人の尊厳をまもる支援のあり方を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 認知症の医学的基礎的知識が理解できる。
2. 認知症のある人の心理的特徴や生活上の困難を理解することができる。
3. 認知症のある人と家族への支援方法について、考えることができる。
4. 認知症のある人と家族の諸問題や支援について自分の考えを表現することができる。

3. 授業の進め方

講義は認知症の医学的基礎知識や行動心理症状（BPSD）、認知症の人と家族の支援について行なう。事例を基にグループワークを行ない認知症高齢者および家族への支援について考え理解を深める。

4. 授業計画（講義）

1. 老化の理解
2. 認知症の基礎知識
3. 認知症ある人の心理的特徴
4. 認知症を取り巻く状況
5. 認知症のある人の基本的なケア
6. 認知症にある人の日常生活状況に応じたケア
7. 認知症のある人および家族のケア
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統別看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 最新版
参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要であり、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか、後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

この科目は選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。